

おおたの教育

第107号

大田区教育委員会広報

平成23年(2011年)
4月1日発行

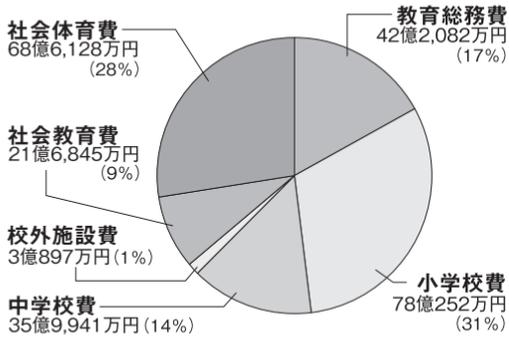
今号の主な内容

- 第1面 平成23年度教育予算のあらまし
- 第2面 平成22年度大田区教育委員会「教育実践功労者」表彰
- 第3面 おもしろ理科教室
- 第4面 就学援助

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL.03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

平成23年度 教育予算のあらまし

平成23年度教育予算額249億6,145万円



平成23年度の教育関係の予算は、前年比10.3%増の249億6,145万円です。区一般会計予算に占める割合は、前年度より0.8%増の10.8%となりました。主な増加要因は大田区総合体育館の建設費です。

教育委員会では、「おおた未来プラン10年」や「おおた教育振興プラン」に基づき、区の教育目標を実現するため、本年度も施策・事業に着実に取り組んでいきます。

今号では、学校教育、教育施設、社会教育・スポーツに関する主な予算のあらましを紹介します。



～学校教育の充実～

○基礎学力の定着 1億1,424万円

習熟度別講師による授業や補習の実施により、英語・数学(算数)の学力向上に取り組めます。

○理科教育の推進 1,247万円

東京工業大学や地域の科学・技術分野の専門家等と連携し、理科教育を充実します。

(1) おおたサイエンススクール 193万円

研究校の清水窪小学校で、東京工業大学と連携した理科教育の研究を進めます。研究の成果は小学校理科教員の指導力向上につなげていきます。

(2) おおた・東工大サイエンスフェスタ 86万円

夏休み中の8月に、東京工業大学の実験室で吸水性ポリマーを活用した燃料電池(*)を作りながら、最先端技術を学びます。*テーマは変更する場合があります。

(3) 小・中学校理科の授業改善の取り組み(東京工業大学と共催) 58万円

共同研究に基づき理科教材の作成、プログラム開発を行ないます。また、グループ研究により、理科教員の指導力の向上と授業改善につなげていきます。



(4) おもしろ理科教室 911万円

「おおた理科博士」(地域の専門家)と理科支援員、理科教員が協働して、小学校5年生、6年生を対象に、先端科学技術に関する実験、体験活動を行ないます。理科教育の活性化と教員の指導力の向上を図ります。



衆国のセーラム市(Aコース)、ドイツのプレーメン市(Bコース)に、あわせて56名を派遣します。

○特別支援学級の増設 669万円(運営経費)

池上第二小学校に知的障害特別支援学級を、東蒲中学校に情緒障害等通級指導学級を新設し、特別支援教育の充実を図ります。これにより、知的障害者特別支援学級設置校は小学校12校、中学校6校に、情緒障害等通級指導学級設置校は小学校9校、中学校3校となります。

○学校特別支援員の配置 4,725万円

通常学級に学校特別支援員を配置し、特別な配慮を必要とする児童・生徒を支援します。

★メンタルヘルスチェックの実施 700万円

学校生活調査(メンタルヘルスチェック)や個人面談を通して、児童・生徒一人ひとりのよい面や、日常生活の様子、悩みや不安を把握し支援します。

★学校運営システムの開発・運用 1億8,295万円

教育委員会事務局と学校をネットワークで結び、情報の共有化と学校の校務の効率化を図ります。



★学校支援地域本部事業 926万円

学校教育の一層の充実のため、地域全体で学校を支援する仕組みとして学校支援地域本部(スクールサポートおおた)の設置を進めます。本年度は小・中学校20校に拡大して実施します。



★家庭・地域教育力向上支援事業 202万円

家庭や地域の子どもに対する教育力向上を目指した講演会などの学習会をPTAや区内団体に委託して実施するほか、小学校新1年生の保護者対象の家庭教育学習会をモデル実施します。

～教育施設の整備～

○嶺町小学校の改築 6億3,073万円

児童数の増加や校舎の老朽化に対応するため、校舎の改築を行います。(平成27年3月しゅん工予定)

○プールの改築 4億4,789万円

仲六郷小学校、矢口東小学校及び羽田中学校のプールを改築します。

○伊豆高原学園の再整備及び付属施設の維持管理 1億214万円

平成27年4月の供用開始を目指し、伊豆高原学園の再整備を進めます。再整備にあたっては民間活力を導入し、改築並びに運営等の一貫した事業提案を公募することで、学園機能の向上と学校未利用期間の区民利用の拡充を図ります。なお、学園改築中の代替施設として、平成23年4月1日に閉館となった伊豆高原荘を活用します。



～社会教育・スポーツの振興～

○図書館事業費 2億4,647万円

平成23年にオープンした入新井図書館とその他の15図書館の資料を購入します。

○スポーツ振興計画の策定 578万円

区のスポーツ振興施策を総合的かつ計画的に推進していくため、スポーツ振興法に基づき、平成24年の総合体育館の完成に合わせて策定します。

★大田区総合体育館の建設 48億7,381万円

平成24年3月竣工、6月末開館を目指し工事を進めます。また、区民のスポーツニーズに応えるため、施設の運営方法などの検討も行ないます。



事業名の前に★印が表記されているものは、「おおた未来プラン10年」「おおた教育振興プラン」に掲げる計画事業です。

問合せ 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

平成22年度 大田区教育委員会『教育実践功労者』表彰

教育委員会では平成21年度に、区の教育の発展に貢献しその功績が顕著で、優れた教育実践を行った教員を「教育実践功労者」として、表彰する制度を創設しました。

表彰の対象は、大田区立学校の主幹教諭、主任教諭、主任養護教諭、教諭、養護教諭で、特に優れた教育実践を行った教員の方々が選考されました。

今年度は7人の方が受賞され、平成23年2月2日に清水教育長から一人ひとりに賞状が手渡されました。

受賞された皆さんには、大田区の教育のためになお一層ご尽力いただき、子どもたちの健やかな成長を支えていただきたいと思います。

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

佐藤晃平 主任教諭 (入新井第一小学校)

栄誉ある表彰は、もっと子供たちに向き合うための励ましととらえて、今までの実践をもとにこれからも、教室や校庭で子供たちと一緒に歩んで行きたいと思います。



★佐藤主任教諭は、主任研究員としてリーダー的役割をされています。体力向上委員としてスポーツの振興と子どもたちの体力向上に寄与され、研究主任として発表を行いました。

細井鏡子 主幹教諭 (池上第二小学校)

※2月16日～仲六郷小学校副校長に転任

子どもたちや教職員が、毎日、笑顔で学校生活を送れるように自分にできることをやってきました。これからも『明日の自分に自信がもてる子どもの育成』に、全力で取り組みます。



★細井主幹教諭(当時)は優れた指導力と模範となる授業を实践され、社会科の研究主任として発表するなど、同教科研究の推進役を担っています。また、特別活動研究部副部長なども担当されました。

藤田純子 主任教諭 (赤松小学校)

子どもたちからエネルギーをもらい、子どもたちと一緒に自分も学び続けてきたような気がします。これからも、理科の面白さ、総合における共同的創造的活動の意義や楽しさを広めていきたいと思っています。



★藤田主任教諭は理科研究部副部長として、大田区の理科教育を広く紹介するなど、理科教育の分野で功績を挙げられています。

矢崎眞弓 主任教諭 (道塚小学校)

何年この仕事をしても「まだまだ力不足。」と感じる事の多い毎日です。子どもたちの笑顔と保護者の皆様の温かいご支援、職場の協力のおかげでの受賞であると心から感謝しています。



★矢崎主任教諭は研究主任の役割を担い、「研究発表会」において教員の意識を高め、大田区の英語活動の啓発・普及に大きく貢献されています。

武田啓司 主幹教諭 (貝塚中学校)

大田区で27年間、教科指導、生活指導、部活動の指導に携わってきました。上手くいかないことも多くありましたが、その都度生徒達のエネルギーに助けられ、活力とさせてもらいました。今後も一人一人が意欲を持ち、笑顔いっぱい生活ができるよう努力していきたいと思っています。



★武田主幹教諭は生活指導・部活動に熱心に取り組み、指導に当たったバレーボールでは東京都大会で3位、全国大会で16位に導くなど実績を挙げられています。

石黒きよみ 主任教諭 (羽田中学校)

指導に当たった特別支援学級の生徒は、毎日2～3kmのマラソンで体力と集中力がつき、お箏演奏等の音楽の活動や学習面でも力を伸ばしました。頑張った生徒、応援して下さった保護者の皆様、一緒に取り組んできた先生方に感謝しています。



★石黒主任教諭は熱心に生徒への生活指導に当たるとともに、若手職員を指導し、特に生活指導面では保護者からも絶大な信頼を得ています。

財前文雄 主任教諭 (東蒲中学校)

教員生活の中で、23年間の長きにわたり大田区の教壇に立ち生徒を指導してきました。今の自分があるのは、子どもたち、地域の皆様、仲間のおかげと大変感謝しています。今後も社会のために、微力ながらお役に立てるよう努力します。



★財前主任教諭は生活指導主任と学年主任を兼務し、「2年後には本校を大きく変える」という強い意志をもち、生徒指導にまい進されています。

みんなが主役の地域コミュニティ ～「地域スポーツクラブ」～①

文部科学省が推進している、生涯スポーツ社会の実現のための「総合型地域スポーツクラブ」の整備事業が全国で展開されています。

大田区では、地域住民から選出された体育指導委員が中心となって「地域スポーツクラブ(以下、クラブ)」の設立準備が進められ、教育委員会はその支援を行っています。

このクラブは、子どもから大人まですべての人が、気軽にスポーツ活動や文化活動を楽しむことができる「コミュニティ(まち)」づくりを目指しています。その特徴を挙げてみますと、
①気軽に立ち寄ることができる近所の学校や施設が会場です。②皆さんのニーズによって、活動の幅がどんどん広がっていきます。③一緒に趣味を楽しむことで、気の合う仲間づくりができます。



かけっこ教室の様子

また、地域住民が主体となって運営するクラブが成長することにより、一人ひとりの健康増進や、子どもの健全育成、高齢者の生きがいづくりなど、さまざまな地域課題の解決に貢献し地域の結びつきも強まるものと考えます。

現在区内では、NPO法人「地域総合スポーツクラブ・ピボットフット」が平成14年より学校施設等を利用して活動しています。そして3月には田園調布地域を中心とした「田園調布グリーンコミュニティ」が設立されました。

次号では具体的な活動の様子をご紹介します。スポーツだけではなく文化的活動も含めて、身近な地域と一緒に活動してみませんか。

問合先 社会教育課事業担当 TEL 5744-1447 FAX 5744-1539



親子体操元気フィットネスの様子

大田区総合体育館の改築を進めています ～平成24年3月竣工、6月末オープン(予定)～

教育委員会では、開館以来40年以上親しまれた旧大田区体育館を大田区総合体育館に改築する計画を進めています。

今回は、新体育館の改築工事の進捗状況をお知らせします。

【改築工事着手】

平成21年7月に旧体育館(平成20年3月末閉館)を解体し、改築工事に着手しました。

【地下部分の工事完了】

新体育館の建設工事は地下部分から開始しました。地下1階にはメインアリーナやサブアリーナといった新体育館の主要施設が配置されるため、



工事の状況(平成23年3月現在)

地面を約12mまで掘り下げ、地下部分の建物をつくる工事に始めました。地下からは、この土地が昔は海だったことを証明するかのよう、貝殻を含むきれいな海砂が現れました。掘り出した土の総量は約73,500㎡(10tダンプカーで約1万3千台分)にもなりました。また、現場は地下水位も高く3mも掘ると水が出る状況で、止水を行いながら地下部分を造る難工事でした。

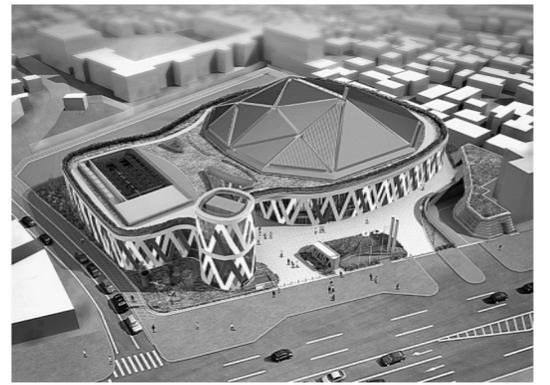
【地上部分の工事へ】

平成22年11月には掘削工事も無事終了し、地下工事を経て、平成23年1月からはいよいよ地上部分の工事が始まりました。工事現場に面する国道15号線の歩道橋に登ってみると、新体育館の特徴のひとつであるV字形が連続する地上部分の柱が良く見えるなど、工事の状況が一目でわかります。

今後は、コンクリートで柱を固めメインアリーナに金属製の大屋根を架ける工事に取りかかります。この屋根が架かる頃から工事はピッチを速め、平成24年3月末に竣工し、平成24年6月末に開館する予定です。

生涯スポーツの拠点として、区民の皆様の期待に応える施設となるよう、整備計画を鋭意進めてまいります。

問合せ先 社会教育課施設活用担当
TEL 5744-1448 FAX 5744-1539



完成予想図

- 施設の概要(所在地:東蒲田一丁目11番1号)
- ◎メインアリーナ(天井高:最高21m、バレーボールコート3面またはバスケットボールコート2面分)
- ◎サブアリーナ(天井高:最高8m、バレーボールコートまたはバスケットボールコート1面分、柔剣道試合場2面分)
- ◎弓道場(近的28m、5人立ち)
- ◎体育室1:約143㎡、体育室2:約144㎡
- ◎会議室 約100㎡
- ◎地下駐車場(62台)など

おもしろ理科教室～平成23年度から「特別講師」を「おおた理科博士^{はかせ}」に改称～

萩中小学校では22年度におもしろ理科教室として、顕微鏡を使って学校の池にいる水中の微生物を観察する授業を実施しました。授業のねらいは、水の中に微生物がいることに興味をもたせることと顕微鏡の正しい使い方を知ることです。専門家である特別講師の木部貞善さんの指導を受け、子どもたちは意欲的に顕微鏡の使い方を学習していました。「この水の中に何匹くらい生き物がいるか、見えるかな?」という木部さんの問いかけに、子どもたちはたいへん興味を示し、動いている微生物を見つけたときに、「もっとよく見せて!」という声次々とあがりました。身近な学校の池にいる様々な微生物を子どもたちは楽しそうに採り、水の中にも小さな命があることに感心しながら、ワムシ、ミジンコ、

ケイソウなどの微生物を観察することができました。



平成23年度から「特別講師」の名称を「おおた理科博士」として、年1回、大田区立小学校5・6年生の全学級で、科学技術の専門家が理科の面白さを伝える授業を行います。大田の子どもたちの知的好奇心や探究心を高め、自然に親しみ、科学的に調べる能力や態度、科学的な認識の定着を図り、科学的な見方や考え方を育てていきます。さらに、子どもたちの質問に対する回答も、おおた理科博士に直接答えてもらうことにしました。おおた理科博士への質問、疑問に感じていることなどは、学校に備えた質問用紙に記入して学校をとおして出してください。たくさんの質問をお待ちしています。

問合せ先 指導課指導主事
TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

入新井図書館が新装オープン

改築のため休館していた入新井図書館が、平成23年3月30日(水)に装いも新たにオープンしました。区立図書館としては初の民間施設入居型の図書館で、大森複合施設ビルの4階に設置されました。同ビルは、大森駅周辺のにぎわいを創出する拠点として開発・整備されました。同館も開館時間を他館より1時間延長するなど、賑わいの創出に寄与できるような運営・取組みを展開していきます。

同館では、どなたでも安心して利用できるように子どもトイレや授乳室の設置等ユニバーサルデザインを採用し、また安全・安心な環境を確保するため安全カメラを設置しています。

新たなサービスとしては、商用データベースの活用など電子情報サービスを提供していきます。今後、地域の皆様をはじめ利用される方々に広くご活用いただく中で、情報収集や読書活動、文化活動にお役立ていただけることを期待しています。

問合せ先 入新井図書館
TEL 3763-3633 FAX 3763-3781



**入新井図書館の
インフォメーション**

所在地 大森北一丁目10番14号
大森複合施設ビル(Luz 大森)4階
JR大森駅徒歩3分

開館時間 午前9時から午後8時まで

休館日 第2木曜日
特別整理期間
年末年始(12月29日～1月3日)

施設概要 床面積:1,015.11㎡
蔵書(収容)数:約5万冊
(一般書3万冊・児童書1万冊・
書庫1万冊・その他視聴覚資料3
千枚)
個人用閲覧座席:56席
(その他にテーブル席、ソファー席、
子ども席などもあります)

＝ 学校緊急連絡システムにご登録ください。 ＝

学校緊急連絡システムは、区民安全・安心メールサービスと連携して、区立学校に通学しているお子さんの保護者の携帯電話などに、緊急な連絡事項を一斉にメール配信するシステムです。

配信内容 ①子どもの安全に係わる事件、事故、災害等の情報
②運動会などの学校行事の実施・中止の情報など

対象者 区立学校に在籍している児童・生徒の保護者

登録方法 4月に学校から配付される手順書に添って登録してください。
手順書がお手元にない場合は、学校に請求してください。

登録変更・削除 3月にお子さんが小・中学校を卒業した方の登録は教育委員会で一括削除しますが、転居により学校が変わった場合は、変更や削除の手続きが必要となります。変更・削除の手順書は各学校に準備してあります。なお、お子さんが中学校に進学された場合は、新たに登録の手続きが必要です。

問合先 教育総務課庶務係 **TEL** 5744-1422 **FAX** 5744-1535

緊急時の対応について

区立学校では災害などの緊急時には、児童の安全確保のため学校での待機や集団下校、保護者等の引取りによる下校をお願いしています。学校緊急連絡システムや緊急連絡網などによりご家庭にお知らせをしますのご理解ご協力をお願いします。

給食費や学用品購入費の一部を援助します (就学援助)

対象

小・中学生のお子さんの保護者で、大田区にお住まいの方のうち、下記のいずれかに該当する方。

- ①生活保護を受けている
- ②同一生計を営む世帯全員の平成22年中の合計所得がおおむね下表の金額（認定基準所得）に満たない

世帯人数	2人	3人	4人	5人
認定基準所得	277万円	345万円	378万円	465万円

※認定基準所得はあくまでも目安です。家族の年齢構成等によって異なります。

援助内容

- ・認定された場合は、下表の内容が受けられます。ただし、認定区分・学年及び申請月によって費目や支給額は異なります。
- ・要保護認定者（生活保護受給者）については、網掛け部分は生活保護費から支給されるため就学援助での支給はありません。
- ・就学援助は、認定された方に就学援助費を支給するものであり、給食費や教材費等の学校納付金が免除されるものではありません。

- 給食費（国立・都立・私立学校は除く）
- 学用品費
- 新入学用品費（4月申請者のみ）
- 体育実技費（購入者のみ）
- 通学費（特別支援学級（固定）通学者のみ）

- 校外授業費
- 移動教室参加費（参加者のみ）
- 修学旅行参加費（参加者のみ）
- クラブ活動費（小学校4～6年生のみ）
- 卒業アルバム費（購入者のみ）
- 医療費（対象疾病のみ）

申請方法

4月上旬に学校から配布する「平成23年度就学援助受給希望調査書（申請書）」を期日までに学校へ提出してください。なお、大田区以外の区市町村立及び国立・都立・私立小中学校に通っている場合は、下記までお問い合わせください。

問合先 学務課学事係 **TEL** 5744-1429 **FAX** 5744-1536

ものづくり競技会の結果発表

平成23年1月15日（土）に小・中学生を対象とした第9回ものづくり教育・学習フォーラムが開催されました。

中学生の代表生徒によるものづくり競技会では、木工部門に6校10名、ソーイング部門に7校17名が参加し、技術・家庭科で学習した知識や技能を生かした制作が行われました。木工部門はオリジナルの本立てを1枚の板から製作し、のこぎりびきなどの作業や加工精度を、ソーイング部門は布を使いバッグを製作し、アイロンやミシンの使い方、縫代の始末などを対象に専門家が厳正に審査をしました。

当日は約4時間で完成させなければならず、どの生徒も真剣な表情で作業に取り組みました。

《木工部門成績》

最優秀賞

金子大地 大森第二中学校

優秀賞

稲見彰太 大森第二中学校

霜田梨紗 御園中学校

技能賞

宜野座隆史 南六郷中学校

徳田遼羽 大森第六中学校

アイデア賞

渡辺亮平 東蒲中学校

坂元建斗 東蒲中学校

浅野春貴 矢口中学校

努力賞

中西愛実 南六郷中学校

花田玲伍 大森第六中学校



《ソーイング部門成績》

最優秀賞

喜納綾香 東蒲中学校

優秀賞

高田美菜 東蒲中学校

江口美穂 馬込東中学校

デザイン賞

米澤真子 大森第七中学校

厚木麻里 大森第十中学校

技能賞

五十嵐有希 大森第十中学校

木ノ本涼葉 糀谷中学校



問合先 指導課指導主事

TEL 5744-1435

FAX 5744-1665

Webポイント賞を受賞

第1回全国少年少女チャレンジ創造コンテストが平成22年11月27日（土）に開催され、大田区から参加した発明クラブのチーム「ドラゴン」が優秀賞「Webポイント賞」を受賞しました。

チームのメンバーはコンテストを通じて、ものづくりの楽しさやチームワークの大切さを体験し、3人が協力してアイデア・工夫を凝らした「モーターとゴムで動くハイブリッドカー」を製作しました。チームのメンバーは下記のとおり。三村周平（赤松小学校5年）、市村翔太、松尾一馬（東蒲小学校4年）



※「Webポイント賞」は全国大会出場チームの作品をインターネットで公開し、一般閲覧者投票により受賞
※学年は受賞時のものです。

表彰 学年は受賞時のものです。

□文化部門

・高尾の森わくわくアートコンテスト

最優秀賞 梅田小学校6年 今井伸明

京王グループ賞 梅田小学校6年 遠山杏実

学校賞 梅田小学校

・第1回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト（別掲）

□スポーツ部門

・第38回マーチングバンド・パトントワーリング 全国大会

中学生の部金賞

雪谷バトンクラブバトンチーム

小学生の部銀賞

K☆bracing

嶺町バトンクラブキューティーズ

教育委員会の主な議題

□平成22年第12回定例会

・大田区立図書館設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則

・大田区立図書館館則の一部を改正する規則

・大田区立入新井図書館の指定管理者の指定について

□平成23年第1回定例会

・平成23年度 教育に関する予算要求原案について

・平成22年度 第四次補正予算要求原案について

・自己情報開示等決定処分に係る審査請求に対する裁決について

・学校事故に係る損害賠償額の専決処分の報告について 外1件

□平成23年第2回定例会

・大田区教育委員会規則で定める様式における名宛表記の整理に関する規則

・大田区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

・青少年健全育成のための大田区行動計画（第五次）の策定について

・公文書不存通知決定に係る審査請求に対する裁決について 外1件

教育委員会定例会の開催予定日

□日時 平成23年4月27日（水）

平成23年5月27日（金）

平成23年6月29日（水）

□時間 午後2時から

□場所 本庁舎6階教育委員会室

※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。

問合先 教育総務課庶務係

TEL 5744-1422 **FAX** 5744-1535